

事務事業評価シート

H26標準事業)

① 基本事項	事業コード	03174-1	事業名	高齢者人間ドック・脳ドック事業	部名	市民文化部	
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財務科	室名	保険年金室	会計	一般会計
	基本施策	01:健康づくりの推進	目	款	民生費	項	社会福祉費
	施策の方向	01:保健サービスの充実	目	目	老人福祉費		

② 目的・概要	対象	後期高齢者医療制度被保険者
	目的	75歳以上の高齢者を対象として、人間ドック・脳ドックの保健事業を実施し、疾病の予防や早期発見に努め、健康増進を図る。
概要	個人負担金	・人間ドック 8,000円 ・脳ドック 6,000円

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	① 名称 受診申込者受付人数	計画値			
		補足	実績値	89	94	86
		単位		人	人	人
	成果	① 名称 受診人数	計画値			
		補足	実績値	89	94	86
		単位		人	人	人

年度計画				年度実績				
				・人間ドック受診者 12人				
				・脳ドック受診者 74人				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	370	平均給与額×③
		事業費		2,687	2,321	一般職員人件費 ②	370	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.05	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤	574	受益者負担率 21.3% ⑤ / ⑥
		その他		2,647	2,309			
		一般財源		40	12			
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	370		
	総コスト		⑥	2,691				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	脳ドックについては、定員100人中、74人の方が受診し、また、人間ドックについては、定員13人中12人が受診したことにより、健診結果による早期発見、早期治療に繋がった。	総合判定	B
			まずまず進んだ	
	【反省点・課題】	脳ドックはH25年度より受診率が低下したため、さらに広報等による案内・勧奨をしていく必要がある。		
【改善の方向性】	脳ドックについては、平成25年度に定員を80人から100人に増やしており、受診者増加に向けて広報等により勧奨していく。人間ドックについては、引き続き関心をもって受診してもらうよう広報等により勧奨していく。			
事業目的の妥当性:		有効性:	最終評価確認者: 保険年金室長 村山 成俊	